

注3

大学番号：国076

[平成23年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

事前伺い

長崎大学 工学部 工学科

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 長崎大学
平成24年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

総務部総務企画課企画班主査（企画）
工学部支援課長補佐

ツチヤモリヒト
土屋守人
サトウリョウジ
佐藤良次

電話番号 095-819-2014

FAX 095-819-2024

e-mail soshikai@ml.nagasaki-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成24年3月12日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況, 経費	32
4. 既設大学等の状況	33
5. 教員組織の状況	34
6. 留意事項に対する履行状況等	36
7. その他全般的事項	37

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人長崎大学

(2) 大学名

長崎大学

(3) 大学の位置

〒852-8521
長崎県長崎市文教町1番14号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成21年度に報告済の内容 → (21)
平成24年度に報告する内容 → (24)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成21年度開設の4年制の学科の場合(平成24年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 工学科 学士(工学)	4年	380人	— 年次人	1,520人	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	380人 (—) [—]	— (—) [—]	380人 (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	1.06倍	
志願者数	1,181 (—) [52]	— (—) [—]	1,017 (—) [49]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]		
受験者数	936 (—) [51]	— (—) [—]	842 (—) [48]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]		
合格者数	444 (—) [24]	— (—) [—]	438 (—) [18]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]		
B 入学者数	409 (—) [13]	— (—) [—]	405 (—) [8]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]		
入学定員超過率 B/A	1.07		1.06									

- (注) ・ 数字は, 平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[13] 409	[—] —	[8] 405	[—] —	[]	[]	[]	[]	
2年次	/		[13] 408	[—] —	[]	[]	[]	[]	
3年次			/		[]	[]	[]	[]	
4年次	/				[]	[]			
計			[13] 409		[21] 813		[]		[]

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成23年度 入学者	409 人	1 人	平成23年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学(1人)	0.2 %
			平成24年度	0 人	0 人		
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成24年度 入学者	405 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人		0.0 %
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成25年度 入学者	人	人	平成25年度	人	人		%
			平成26年度	人	人		
平成26年度 入学者	人	人	平成26年度	人	人		%
合 計	814 人	1 人					0.1 %

(注)・数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<工学部 工学科>

(1) 授業科目表

※全学的に全学教育科目を教養教育科目に改正

工学部工学科(全学教育科目)(全コース共通)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
共通基礎科目	教養セミナー	1前	2			16	14					
	教養特別講義	1前	2			4	1					
情報処理科目	情報処理入門	1前・後	2				5					
	コンピュータ入門	2前・後		2			1					
健康・スポーツ科学科目	健康科学	1前・後	1									
	スポーツ演習	1前・後	1									
外国語科目	既習外国語	英語コミュニケーションⅠ	1前	1								
		英語コミュニケーションⅡ	1後	1								
		英語コミュニケーションⅢ	2前	1								
		総合英語Ⅰ	1前	1								
		総合英語Ⅱ	1後	1								
		総合英語Ⅲ	2後	1								
	初習外国語	ドイツ語Ⅰ	1前	(1)								
		ドイツ語Ⅱ	1後	(1)								
		ドイツ語Ⅲ	2前	(1)								
		ドイツ語Ⅳ	2後	(1)								
		フランス語Ⅰ	1前	(1)								
		フランス語Ⅱ	1後	(1)								
		フランス語Ⅲ	2前	(1)								
		フランス語Ⅳ	2後	(1)								
		中国語Ⅰ	1前	(1)								
		中国語Ⅱ	1後	(1)								
		中国語Ⅲ	2前	(1)								
		中国語Ⅳ	2後	(1)								
		韓国語Ⅰ	1前	(1)								
		韓国語Ⅱ	1後	(1)								
韓国語Ⅲ	2前	(1)										
韓国語Ⅳ	2後	(1)										
人文・社会科学科目	人間と文化	1・2前後		2								
	言語と芸術	1・2前後		2								
	社会と歴史	1・2前後		2								
	法と政治	1・2前後		2								
	経済と経営	1・2前後		2								
	日本国憲法	1・2前後		2								
人間科学科目	人間の科学	1・2前後		2								
	生体の機能	1・2前後		2								
	生命の科学	1・2前後		2								
	人間と環境	1・2前後		2								
	生体の構造	1・2前後		2								
自然科学科目	数理科学	1・2前後		2		1	2					
	物理科学	1・2前後		2		4	2		1			
	化学の基礎	1・2前後		2		1	3					
	生物の科学	1・2前後		2								
	地球と宇宙の科学	1・2前後		2		1	1					
総合科学科目	口の健康・体の健康	1・2・3・4前		2								
	防災科学	1・2・3・4前		2		6	4		2			
	フランス学	1・2・3・4前		2								
	火山と災害	1・2・3・4前		2		1						
	キャリア概論	1・2・3・4前		2								
	平和講座	1・2・3・4前		2								
	トレーニングの科学	1・2・3・4後		2								
	キャリア概論	1・2・3・4後		2								
平和講座	1・2・3・4後		2									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合科学科目	酒の科学	1・2・3・4後		2								
	放射能の光と影	1・2・3・4後		2								
	暮らしと地球環境学	1・2・3・4後		2								
	異文化事情	1・2・3・4後		2								
	大学生のための育児学	1・2・3・4後		2								
	平和講座	1・2・3・4後		2								
	口の健康・体の健康	1・2・3・4後		2								
	教養とは	1・2・3・4後		2								
	情報社会と情報システム	1・2・3・4後		2								
	時間の科学	1・2・3・4後		2								
	解放講座	1・2・3・4後		2								
	共同授業	1・2・3・4後		2								
	解放講座	1・2・3・4後		2								
	全学乗船実習	1・2・3・4後		2								
開放科目	天文学	1・2・3・4後		2								
	総合経済b	2・3・4後		2								
	国際保健看護学	2・3・4前		1								
	生理学	1・2・3・4前		1.5								
	歯科理工学Ⅰ	1・2・3・4前		1								
	口腔生理学	1・2・3・4後		1								
	基礎化学	1・2・3・4前		2								
	有機化学Ⅰ	1・2・3・4後		2								
	物理化学Ⅰ	1・2・3・4後		2								
	循環型社会工学	1・2・3・4後		2		4						
	工業材料概論	1・2・3・4後		2			2					
	電気工学概論	1・2・3・4後		2		1			1			
	電気工学概論	1・2・3・4後		2		1				1		
	環境統計学	1・2・3・4前		2								
	環境マネジメント論	2前		2								
	環境史	1・2・3・4前		2								
	地震・火山学	1・2・3・4前		2								
	地域環境研究(フランス語圏)	1・2・3・4前		2								
	水産と船	1・2・3・4前		2								
	海の生物Ⅰ	1・2・3・4前		2								
	生物化学概論	1・2・3・4前		2								
	食糧科学概論	1・2・3・4後		2								
資源管理学概論	1・2・3・4後		2									
海の生物Ⅱ	1・2・3・4後		2									
海洋環境科学概論	1・2・3・4後		2									
海洋学概論	1・2・3・4後		2									

工学部工学科(教養教育科目)(全コース共通)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	<教養ゼミナール科目>											
	教養ゼミナール	1前	2			15	15					
	<情報科学科目>											
	情報基礎	1前	2									
	<健康・スポーツ科学科目>											
	健康科学	1前・後	1									
	スポーツ演習	1前・後	1									
	<英語>											
	英語コミュニケーション	1前	1									
	英語コミュニケーション	1後	1									
	英語コミュニケーション	2前	1									
	総合英語Ⅰ	1前	1									
	総合英語Ⅱ	1後	1									
	総合英語Ⅲ	2後	1									
	<初習外国語>											
	ドイツ語Ⅰ	1前	(1)									
	ドイツ語Ⅱ	1後	(1)									
ドイツ語Ⅲ	2前	(1)										
ドイツ語Ⅳ	2後	(1)										

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				備考			
			必修	選択	択自	自由	教授	准教授	講師	助教		助手		
必須科目	フランス語Ⅰ	1前	(1)											
	フランス語Ⅱ	1後	(1)											
	フランス語Ⅲ	2前	(1)											
	フランス語Ⅳ	2後	(1)											
	中国語Ⅰ	1前	(1)											
	中国語Ⅱ	1後	(1)											
	中国語Ⅲ	2前	(1)											
	中国語Ⅳ	2後	(1)											
	韓国語Ⅰ	1前	(1)											
	韓国語Ⅱ	1後	(1)											
	韓国語Ⅲ	2前	(1)											
	韓国語Ⅳ	2後	(1)											
	教養教育科目	種別	科目名											
		心身の健康と生命	モジュールⅠ	人体の構造と機能	1後	2								
			栄養とは何か	1後	2									
			遺伝子と生命	1後	2									
モジュールⅡ			スポーツ医学	2前・後	2									
			男と女の脳科学	2前・後	2									
			ライフサイクルとメンタルヘルス	2前・後	2									
			性と命（いのち）	2前・後	2									
			老化と死	2前・後	2									
健康と共生		モジュールⅠ	人の一生と健康	1後	2									
			性と生	1後	2									
			ハンディキャップ	1後	2			1						
		モジュールⅡ		大学生の育児学	2前・後	2								
				仕事と健康	2前・後	2								
			老いと健康	2前・後	2									
美と健康		モジュールⅠ	ヒトの生物学	1後	2									
			菌の進化と人類学	1後	2									
			ストレスと健康	1後	2									
		モジュールⅡ		先端医療・再生医療	2前・後	2								
				食の科学	2前・後	2								
			口と疾患	2前・後	2									
			口と健康	2前・後	2									
		審美	2前・後	2										
安全で安心できる社会		モジュールⅠ	健康と医療の安全・安心	1後	2									
			リスク社会と社会科学	1後	2									
			科学と技術の安全・安心	1後	2			1	1					
		モジュールⅡ		危機管理の考え方	2前・後	2								
				医療現場の安全と安心	2前・後	2								
			社会科学からみた安心・安全	2前・後	2									
		工学から見た安全安心（エネルギーと資源）	2前・後	2			2	1						
教育と社会		モジュールⅠ	教育原理論	1後	2									
			教育心理	1後	2									
		教育行政・制度論	1後	2										
	モジュールⅡ		教育相談	2前・後	2									
			文学と社会	2前・後	2									
			身のまわりの科学	2前・後	2									
			芸術	2前・後	2									
	環境と社会	2前・後	2											

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数				専任教員等の配置					備 考		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手				
教養教育科目	現 代 の 教 養	モジュール I	文化と社会	1後	2									
		自然の科学	1後	2										
		芸術の世界	1後	2										
		モジュール II	ことばの世界	2前・後	2									
		人間と社会	2前・後	2										
		暮らしと科学	2前・後	2										
		数と自然	2前・後	2										
		音楽	2前・後	2										
		美術	2前・後	2										
		現 代 経 済 と 企 業 活 動	モジュール I	経済活動と社会	1後	2								
			企業の仕組みと行動	1後	2									
			経済政策と公共部門	1後	2									
			モジュール II	国際社会と日本経済	2前・後	2								
			地域社会と日本経済	2前・後	2									
	企業行動と戦略		2前・後	2										
	社会制度と経済活動		2前・後	2										
	環 境 問 題 を 考 え る	モジュール I	地球温暖化を考える	1後	2									
		水環境を考える	1後	2										
		環境政策を考える	1後	2										
		モジュール II	環境思想	2前・後	2									
		環境と生物応答	2前・後	2										
		廃棄物と地下水汚染	2前・後	2										
		藻類の多様性と系統	2前・後	2										
	こ と ば と 文 化	モジュール I	地球温暖化を考える	1後	2									
		水環境を考える	1後	2										
		環境政策を考える	1後	2										
		モジュール II	環境思想	2前・後	2									
		環境と生物応答	2前・後	2										
		廃棄物と地下水汚染	2前・後	2										
		藻類の多様性と系統	2前・後	2										
	人 の 暮 ら し と 海 洋 生 物 資 源	モジュール I	マスメディアと表現	1後	2									
		ITと言語	1後	2										
		心とことば	1後	2										
		モジュール II	数と表現	2前・後	2									
		音楽と表現	2前・後	2										
		多文化理解とことば	2前・後	2										
		文字とことば	2前・後	2										
		脳とことば	2前・後	2										
		モジュール I	海の生物と多様性	1後	2									
		海洋生物資源の生化学	1後	2										
	自 由 選 択 科 目	モジュール II	海とは何か？～海洋生態系の現状と課題～	1後	2									
		生物から見た水産業	2前・後	2										
人から見た水産業		2前・後	2											
海洋の生物と科学		2前・後	2											
海洋食料資源の応用		2前・後	2											
海洋環境と保全		2前・後	2											
日本国憲法	1前・後	2												
物理科学	1前・後	2					1							
解放講座	1前・後	2												
共同授業	1前・後	2												
全学乗船実習	1前・後	2												
オランダの文化	1前・後	2												
オランダの言語	1前・後	2												
特別活動論	1前・後	2												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	計	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目 自由選択科目	生徒・進路指導	1前・後		2								
	教育方法・技術論	2前・後		2								
	私たちと法	1前・後		2								
	日本の思想文化	1前・後		2								
	ジェンダーと法	1前・後		2								
	芸術と文化	1前・後		2								
	共生のグローバル人類学	1前・後		2								
	社会学	1前・後		2								
	日本の言語と文化	1前・後		2								
	平成長崎塾	1前・後		2								
	男女共同参画のすすめ	1前・後		2								
	疑似科学とのつき合い方	1前・後		2								
	基礎物理	1前・後		2								
	基礎化学	1前・後		2								
	基礎生物	1前・後		2								
	基礎数学	1前・後		2								
	基礎英語	1前・後		2								
	平和講座	1前・後		2								
キャリア概論	1前・後		2									

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 届出時の授業科目全て(兼任, 兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で, 前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し, 「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお, 昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「配当年次」について, 届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても, 届出時の状況を黒字で記入してください。また, 前年度報告時より修正があれば, 赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 27	科目 66	科目 0	科目 93	科目 26 [△1]	科目 107 [41]	科目 0 [0]	科目 133 [40]	

- (注) ・ 未開講である場合や, 配当年次に関わらず, 教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など, 別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに, [] 内に, 届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	教養セミナー	2	1前	一般	必修	全学の学生に適用される全学教育の在り方を見直し、平成24年度から新たな教養教育のカリキュラムを開始したため
2	教養特別講義	2	1前	一般	必修	
3	情報処理入門	2	1前・後	一般	必修	
4	コンピュータ入門	2	2前・後	一般	選択	
5	健康科学	1	1前・後	一般	必修	
6	スポーツ演習	1	1前・後	一般	必修	
7	英語コミュニケーションⅠ	1	1前	一般	必修	
8	英語コミュニケーションⅡ	1	1後	一般	必修	
9	英語コミュニケーションⅢ	1	2前	一般	必修	
10	総合英語Ⅰ	1	1前	一般	必修	
11	総合英語Ⅱ	1	1後	一般	必修	
12	総合英語Ⅲ	1	2後	一般	必修	
13	ドイツ語Ⅰ	1	1前	一般	必修	
14	ドイツ語Ⅱ	1	1後	一般	必修	
15	ドイツ語Ⅲ	1	2前	一般	必修	
16	ドイツ語Ⅳ	1	2後	一般	必修	
17	フランス語Ⅰ	1	1前	一般	必修	
18	フランス語Ⅱ	1	1後	一般	必修	
19	フランス語Ⅲ	1	2前	一般	必修	
20	フランス語Ⅳ	1	2後	一般	必修	
21	中国語Ⅰ	1	1前	一般	必修	
22	中国語Ⅱ	1	1後	一般	必修	
23	中国語Ⅲ	1	2前	一般	必修	
24	中国語Ⅳ	1	2後	一般	必修	
25	韓国語Ⅰ	1	1前	一般	必修	
26	韓国語Ⅱ	1	1後	一般	必修	
27	韓国語Ⅲ	1	2前	一般	必修	
28	韓国語Ⅳ	1	2後	一般	必修	
29	人間と文化	2	1・2前後	一般	選択	
30	言語と芸術	2	1・2前後	一般	選択	
31	社会と歴史	2	1・2前後	一般	選択	
32	法と政治	2	1・2前後	一般	選択	
33	経済と経営	2	1・2前後	一般	選択	
34	日本国憲法	2	1・2前後	一般	選択	
35	人間の科学	2	1・2前後	一般	選択	
36	生体の機能	2	1・2前後	一般	選択	
37	生命の科学	2	1・2前後	一般	選択	
38	人間と環境	2	1・2前後	一般	選択	
39	生体の構造	2	1・2前後	一般	選択	
40	数理科学	2	1・2前後	一般	選択	
41	物理科学	2	1・2前後	一般	選択	
42	化学の基礎	2	1・2前後	一般	選択	
43	生物の科学	2	1・2前後	一般	選択	
44	地球と宇宙の科学	2	1・2前後	一般	選択	
45	口の健康・体の健康	2	1・2・3・4前	一般	選択	
46	防災科学	2	1・2・3・4前	一般	選択	
47	フランス学	2	1・2・3・4前	一般	選択	
48	火山と災害	2	1・2・3・4前	一般	選択	
49	キャリア概論	2	1・2・3・4前	一般	選択	
50	平和講座	2	1・2・3・4前	一般	選択	
51	トレーニングの科学	2	1・2・3・4後	一般	選択	
52	キャリア概論	2	1・2・3・4後	一般	選択	
53	平和講座	2	1・2・3・4後	一般	選択	

54	酒の科学	2	1・2・3・4後	一般	選択
55	放射能の光と影	2	1・2・3・4後	一般	選択
56	暮らしと地球環境学	2	1・2・3・4後	一般	選択
57	異文化事情	2	1・2・3・4後	一般	選択
58	大学生のための育児学	2	1・2・3・4後	一般	選択
59	平和講座	2	1・2・3・4後	一般	選択
60	口の健康・体の健康	2	1・2・3・4後	一般	選択
61	教養とは	2	1・2・3・4後	一般	選択
62	情報社会と情報システム	2	1・2・3・4後	一般	選択
63	時間の科学	2	1・2・3・4後	一般	選択
64	解放講座	2	1・2・3・4後	一般	選択
65	共同授業	2	1・2・3・4後	一般	選択
66	解放講座	2	1・2・3・4後	一般	選択
67	全学乗船実習	2	1・2・3・4後	一般	選択
68	天文学	2	1・2・3・4後	一般	選択
69	総合経済b	2	2・3・4後	一般	選択
70	国際保健看護学	1	2・3・4前	一般	選択
71	生理学	1.5	1・2・3・4前	一般	選択
72	歯科理工学 I	1	1・2・3・4前	一般	選択
73	口腔生理学	1	1・2・3・4後	一般	選択
74	基礎化学	2	1・2・3・4前	一般	選択
75	有機化学 I	2	1・2・3・4後	一般	選択
76	物理化学 I	2	1・2・3・4後	一般	選択
77	循環型社会工学	2	1・2・3・4後	一般	選択
78	工業材料概論	2	1・2・3・4後	一般	選択
79	電気工学概論	2	1・2・3・4後	一般	選択
80	電気工学概論	2	1・2・3・4後	一般	選択
81	環境統計学	2	1・2・3・4前	一般	選択
82	環境マネジメント論	2	2前	一般	選択
83	環境史	2	1・2・3・4前	一般	選択
84	地震・火山学	2	1・2・3・4前	一般	選択
85	地域環境研究（フランス語圏）	2	1・2・3・4前	一般	選択
86	水産と船	2	1・2・3・4前	一般	選択
87	海の生物 I	2	1・2・3・4前	一般	選択
88	生物化学概論	2	1・2・3・4前	一般	選択
89	食糧科学概論	2	1・2・3・4後	一般	選択
90	資源管理学概論	2	1・2・3・4後	一般	選択
91	海の生物 II	2	1・2・3・4後	一般	選択
92	海洋環境科学概論	2	1・2・3・4後	一般	選択
93	海洋学概論	2	1・2・3・4後	一般	選択

(注) ・ 届出時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。
 なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「国際社会で活躍するリーダーの育成」を教育目標に、現代社会が求める批判的精神や探求能力の育成が可能となるよう全学的に教養教育の改革を行った。教育方法としてアクティブラーニングを積極的に取り入れ、学生が積極的に課題に取り組み、課題解決能力や協調性を獲得する「学生参加型の授業」への転換を図ることとし、全学教育科目の名称を教養教育科目の名称に改めた。在学生については、経過措置を設け、学生にとって不利にならないように措置するとともに、学内説明会を開催し周知を図った。また、受験者に対しては、高等学校を訪問し本学の教養教育の改革内容について説明を行った。

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{} \quad 100.00$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

(1) 授業科目表

工学部工学科（機械工学コース）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
工学基礎科目	微分積分学Ⅰ	1前	2			1	+					担当教員の見直しのため(23)
	微分積分学Ⅱ	1後	2			1						
	微分積分学Ⅲ	2前	2				1					
	微分積分学演習	2前	1			1	1					
	線形代数学Ⅰ	1前	2				1					
	線形代数学Ⅱ	1・2・3・4前			2					1		
	確率・統計	2前	2				1					
	応用数学A	3前		2								
	応用数学B	3後		2								
	応用数学C	2後		2			1					
	工業数学A	1・2・3・4前			1					1		
	工業数学B	1・2・3・4後			1		1					
	工業数学C	1・2・3・4前			1					1		
	基礎物理A	1後	2				2	+				教育内容の充実のため(24)
	基礎物理B	1・2・3・4後			2		1					
	基礎物理C	2前	2				+	1				担当教員の見直しのため(24)
	基礎物理D	3前		2			1					
	基礎化学	1前		2			1					
	生命科学	1後		2								
	基礎実験	1前		1			+	3		6		担当教員の見直しのため(24)
	情報科学概論	1前		2			+	1				担当教員の見直しのため(23)
	技術英語Ⅰ	2後		1			1	1				教育内容の充実のため(24)
	技術英語Ⅱ	3前		1			1					
	技術英語Ⅲ	3後		1			1			1		
	技術英語Ⅳ	4前		1			8	9		5		
	創成プロジェクト	1・2・3・4前			1		1	1				
工学倫理と安全工学	3前		2			1	1					
経営管理	3後		2									
産業経済学	3前		2									
専門科目	機械の入門	1前	1			8	9		5			
	プログラミング実習	1後	1			1	1					
	ロボティクス基礎実験	2前	1			1						
	エネルギー基礎実験	2後	1			3	+		1		担当教員の見直しのため(24)	
	機械工学実験	3前	1				1					
	機械のデザインⅠ	1後	1				1					
	機械のデザインⅡ	2後	1				+	2		2		担当教員の見直しのため(24)
	機械の設計製作A	3前	1			8	9		5			
	機械の設計製作B	3後	1			8	9		5			
	エンジニアリングアプローチ	3後	2				1					
	エンジニアリングプラクティス	3前	1			1	1		1			
	CAE実習	3後		1		1	1		1			
	材料力学Ⅰ	2前	3				1					
	材料力学Ⅱ	3前		2		1						
	弾塑性力学	3前		2			1					
	機械材料Ⅰ	2前	2				1					
	機械材料Ⅱ	3前		1			1					
	材料強度学	3後		1			1					
	機械力学Ⅰ	3前	3			2						
	機械力学Ⅱ	3後		2		1	1					
	機構システム学	1前	2				1					
	設計工学	3前	3			1						
	トライボシステム学	3前		1			1					
	生産加工学	2前	2				1					
	生産加工学実習	2前	1				2					
	機械計測法	2後	3				2					
	精密加工学	3前		1			1					
	生産システム学	3前		1			1					
応用光学	3前		1			1						
生産管理	4前		1									
メカトロニクス	2前	2			1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	自	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	制御工学Ⅰ	2後	2				1					
	制御工学Ⅱ	3後		2			1					
	ロボット工学	3後		2			1					
	福祉工学	4前		1			1					
	バイオメカニクス	3後		1			1					
	福祉工学実習	4前		1			1					
	流体力学Ⅰ	2後	3				1					
	流体力学Ⅱ	3前		2			1					
	熱力学Ⅰ	2後	3				1	1				担当教員の昇任のため(24)
	熱力学Ⅱ	3前		2				1				
	伝熱学	3前	2					1				
	流体機械	3後		2				1				
	エネルギーと環境工学	3後	2				1					
	エンジン工学	3後		2			1					
	冷凍空調工学	4前		1				1				
	エネルギー変換工学	4前		1			2					
	燃焼工学	4前		1								
	ジェット推進工学	4前		1			1					
	新エネルギー論	4前		1				1				
	環境評価実践	4前		1				1				
	応用物理学	3後	2				1					
	数値計算法	2後	2				1					
	社会と工学	3後		2			1					
	化学工学	4前		1				1				
	地学概論	2後			2		2	2				担当教員の見直しのため(24) 教員免許状の課程認定審査のため(23)
	工業入門	2前			2		2	2		2		担当教員の見直しのため(24) 教員免許状の課程認定審査のため(23)
	職業指導Ⅰ	3前 2後			2		2	2		2		教育効果の向上のため(24) 教員免許状の課程認定審査のため(23)
	職業指導Ⅱ	後 3前			2		2	2		2		教育効果の向上のため(24) 教員免許状の課程認定審査のため(23)
国際インターンシップ	1・2・3・4前・後		1								教育課程の充実のため(24)	
卒業研究	4通		8			8	9		5			

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- 届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
41	39	5	85	41	40	9	90	
				[0]	[1]	[4]	[5]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{} \quad 0.00$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

(1) 授業科目表

工学部工学科（電気電子工学コース）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
工学 基礎 科目	微分積分学Ⅰ	1前	2			+	1					担当教員の見直しのため(23)
	微分積分学Ⅱ	1前	2				1					
	微分積分学Ⅲ	1後	2			1						
	微分積分学演習	1・2・3・4前			1					1		
	線形代数学Ⅰ	1前	2			1						
	線形代数学Ⅱ	2前	2			1				+		担当教員の見直しのため(24)
	確率・統計	2後	2							1		
	応用数学A	1後	2				1					
	応用数学B	2前	2				1					
	応用数学C	1後	2				1					
	工業数学A	1・2・3・4前			1		1					
	工業数学B	1・2・3・4後			1		1					
	工業数学C	1・2・3・4後			1		1					
	基礎物理A	1前	2				1					
	基礎物理B	2後		2			2 +					教育内容の充実のため(24)
	基礎物理C	1後	2							1		
	基礎物理D	2前		2			1					
	基礎化学	3後		2			1					
	生命科学	3前		2				1				
	基礎実験	1後	1				4 +			4 5		担当教員の見直しのため(24)
	情報科学概論	1後	2				1	+		+		担当教員の見直しのため(23)
	技術英語Ⅰ	3前	1				1					
	技術英語Ⅱ	3後		1			1					
	技術英語Ⅲ	4前		1			1					
技術英語Ⅳ	1・2・3・4前			1		4	7		5			
創成プロジェクト	1・2・3・4前		1			1						
工学倫理と安全工学	3後	2										
経営管理	4前		2									
産業経済学	4前		2									
専門 科目	プレゼンテーション技法	2後	1				1			+		担当教員の見直しのため(24)
	思考法演習	3前	1				1					
	電気電子数学演習	2後	1					1		+		担当教員の見直しのため(24)
	電気回路Ⅰ	1前	2				1					
	電気回路Ⅱ	1後	2					1				
	電気回路Ⅲ	2前	2				1					
	電気回路Ⅰ演習	1前	1				1					
	電気回路Ⅱ演習	1後	1					1				
	電気回路Ⅲ演習	2前	1				1					
	電気磁気学Ⅰ	2前	2				1					
	電気磁気学Ⅱ	2後	2				1					
	電気磁気学Ⅲ	3前	2				1					
	電気磁気学Ⅰ演習	2前	1				1					
	電気磁気学Ⅱ演習	2後	1				1					
	電気磁気学Ⅲ演習	3前 2後	1				1					教育効果の向上のため(24)
	電気電子計測	3後	2				1					
	プログラミング演習	2前	1					2				
	数値解析アルゴリズム	3前	1					1		1		
	電気電子工学実験Ⅰ	2前	1				1	2		1 2		担当教員の見直しのため(24)
	電気電子工学実験Ⅱ	2後	1					1 3		2 +		担当教員の見直しのため(24)
	電気電子工学実験Ⅲ	3前	1				1	2		3		
	プロジェクト実験	3後	2				2	8		6		
	データ構造とアルゴリズム	3後		2						1		
	コンピュータ構成論	3前		2				1				
ディジタル信号処理	2後	2				1			+		担当教員の見直しのため(24)	
電気エネルギー工学Ⅰ	3前	2				1						
自動制御Ⅰ	2後	2				1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門科目	電気機器Ⅰ	3前	2			1						
	電子回路Ⅰ	2前	2			1	+					担当教員の見直しのため(24)
	デジタル論理回路	3後	2				1					
	電子物性	2後	2			1						
	通信方式	2後	2			1	+					担当教員の見直しのため(24)
	電気エネルギー工学Ⅱ	3後		2		1						
	高電圧・パルスパワー工学	4前		2		1						
	電気エネルギーシステム	4後		2		1						
	電気法規及び電力管理	4前		2								
	自動制御Ⅱ	3前		2		1						
	デジタル制御	3後		2		1						
	電気機器Ⅱ	3後		2		1						
	パワーエレクトロニクス	3後		2			1					
	電気機器設計・製図	4前		2								
	電子回路Ⅱ	2後		2			1					
	デジタル電子回路	3前		2			1					
	電気電子材料学	3後		2			1					
	電子デバイス	3前		2			1					
	プラズマ工学	3後		2		1						
	通信機器	3前		2		1						
	通信伝送工学	3後		2		1						
	電磁波工学A	3後		2			1					
	電磁波工学B	3後		2		1						
	計算電磁気学	3前		2		1						
	光工学	4前		2			1					
	通信法規	4後		2								
	学外実習・工場見学	3通		1		1						
	地学概論	2後			2	2	2					担当教員の見直しのため(24) 教員免許状の課程認定審査のため(23)
工業入門	2前			2	2	2			2		担当教員の見直しのため(24) 教員免許状の課程認定審査のため(23)	
職業指導Ⅰ	3前 2後			2	2	2			2		教育効果の向上のため(24) 教員免許状の課程認定審査のため(23)	
職業指導Ⅱ	3前			2	2	2			2		教育効果の向上のため(24) 教員免許状の課程認定審査のため(23)	
国際インターンシップ	1・2・3・4前・後		1								教育課程の充実のため(24)	
卒業研究	4通		8		4	7			5			

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- 届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
46	33	5	84	46	34	9	89	
				[0]	[1]	[4]	[5]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。
なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{} \quad 0.00$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

(1) 授業科目表

工学部工学科 (情報工学コース)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	自	教授	准教授	講師	助教	助手	
工学基礎科目	微分積分学Ⅰ	1前	2				1			+		担当教員の見直しのため(23)
	微分積分学Ⅱ	1後	2				1			+		担当教員の見直しのため(23)
	微分積分学Ⅲ	2前	2					1				
	微分積分学演習	1・2・3・4後			1	1						
	線形代数学Ⅰ	1前	2							1		
	線形代数学Ⅱ	1後	2							1		
	確率・統計	1後	2				1	+		1		担当教員の見直しのため(23)
	応用数学A	1・2・3・4前			2		1					
	応用数学B	1・2・3・4後			2		1					
	応用数学C	1・2・3・4前			2		1					
	工業数学A	1・2・3・4後			1					1		
	工業数学B	1・2・3・4前			1		1					
	工業数学C	1・2・3・4後			1					1		
	基礎物理A	2前		2				1				
	基礎物理B	3前		2				1				
	基礎物理C	1後		2			1					
	基礎物理D	1・2・3・4前			2		1					
	基礎化学	3後		2			1					
	生命科学	3前		2			1					
	基礎実験	1・2・3・4前			1	1						
	情報科学概論	1前	2							1		
	技術英語Ⅰ	2前	1									
	技術英語Ⅱ	3前		1		4	5		4			
	技術英語Ⅲ	3後		1		4	5		4			
	技術英語Ⅳ	4前		1		4	5		4			
	創成プロジェクト	1・2・3・4前			1	1						
	工学倫理と安全工学	2後	2									
経営管理	4前		2									
産業経済学	4後		2									
専門科目	情報基礎数学	2前	2							1		
	情報数学Ⅰ	2後	2				1	+				担当教員の昇任のため(24)
	情報数学Ⅱ	3前		2				1				
	情報数学Ⅲ	3後		2				1				
	グラフ理論と最適化	2前		2				1				
	情報理論	2前	2				1					
	データ構造とアルゴリズム	2後	2					1		+		担当教員の見直しのため(24)
	オートマトンと言語理論	2後	2					1				
	コンピュータ概論	1前	2				1					
	コンピュータ構成論	2前	2					1				
	コンピュータアーキテクチャ	4前		2				1				
	オペレーティングシステムⅠ	3前	2					1				
	オペレーティングシステムⅡ	3後		2				1				
	コンパイラ	4前		2				1				
		3										
	情報ネットワークⅠ	4前	2				1					教育効果の向上のため(23)
	情報ネットワークⅡ	3後		2			1					
	プログラミング概論	1後	2				1					
	プログラミング言語論	3後		2				1				
	電気回路Ⅰ	1前	2				+	1				担当教員の見直しのため(23)
	電子回路Ⅰ	2前		2				1				
	集積回路工学	3前		2			1					
	デジタル信号処理Ⅰ	2前	2				1					
	デジタル信号処理Ⅱ	2後	2				1					
	人工知能	3前		2			1					
	知識工学	3後		2			1					
	データベース	3前	2				1					
画像処理	3前		2				1					
パターン認識	3後		2			1						
音響音声学	3後		2			1						
ソフトウェア工学	3後	2					1					
ヒューマンインターフェース	2後		2				1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	計	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	コンピュータシミュレーション	3後		2		1						
	コンピュータグラフィックス	4前		2			1					
	ハードウェア記述言語	3前		2		1						
	プログラミング演習Ⅰ	1後	2				+		1			担当教員の見直しのため(23)
	プログラミング演習Ⅱ	2前	2				1			+		担当教員の見直しのため(24)
	プログラミング演習Ⅲ	2後	2					1		+		担当教員の見直しのため(24)
	プログラミング演習Ⅳ	3前	2					1				
	情報工学実験Ⅰ	2後	2			2	1		1			
	情報工学実験Ⅱ	3前	2			1	1		2			
	情報工学実験Ⅲ	3後	2					1				
	プロジェクト研究	3通		1		1						
	地学概論	2後			2	2	2					担当教員の見直しのため(24) 教員免許状の課程認定審査のため(23)
	工業入門	2前			2	2	2			2		担当教員の見直しのため(24) 教員免許状の課程認定審査のため(23)
	職業指導Ⅰ	3前 2後			2	2	2			2		教育効果の向上のため(24) 教員免許状の課程認定審査のため(23)
	職業指導Ⅱ	後 3前			2	2	2			2		教育効果の向上のため(24) 教員免許状の課程認定審査のため(23)
	国際インターンシップ	1・2・3・4前・後		1								教育課程の充実のため(24)
	卒業研究	4通		8		4	5					

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- 届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
32	31	9	72	32	32	13	77	
				[0]	[1]	[4]	[5]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。
なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{} \quad 0.00$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

(1) 授業科目表

工学部工学科 (構造工学コース)

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数				専任教員等の配置				備 考
			必 修	選 択	自 由		教 授	准 教 授	講 師	助 教 助 手	
工 学 基 礎 科 目	微分積分学Ⅰ	1前	2			1			+		担当教員の見直しのため(23)
	微分積分学Ⅱ	1後	2				1				
	微分積分学Ⅲ	1後	2			1	-				担当教員の見直しのため(23)
	微分積分学演習	1・2・3・4前			1	1					
	線形代数学Ⅰ	1前	2				1		+		担当教員の見直しのため(23)
	線形代数学Ⅱ	1・2・3・4後			2	1					
	確率・統計	1・2・3・4後			2	1					
	応用数学A	2後	2			1					
	応用数学B	1・2・3・4後			2	1					
	応用数学C	2前	2				1 2				担当教員の見直しのため(24)
	工業数学A	1・2・3・4前			1					1	
	工業数学B	1・2・3・4後			1	1					
	工業数学C	1・2・3・4後			1					1	
	基礎物理A	1後	2				1				
	基礎物理B	1前		2			2 +				教育内容の充実のため(24)
	基礎物理C	1前		2			1				
	基礎物理D	1・2・3・4後			2	1					
	基礎化学	2前		2		1					
	生命科学	1前		2							
	基礎実験	1後 1・2・3・4後		1				4		4	教育効果の向上及び担当教員 の見直しのため(24)
	情報科学概論	1・2・3・4前			2					1	
	技術英語Ⅰ	2前	1			-	1				担当教員の見直しのため(24)
	技術英語Ⅱ	3前		1		4	4				
技術英語Ⅲ	1・2・3・4前			1					1		
技術英語Ⅳ	1・2・3・4後			1	4	4					
創成プロジェクト	1・2・3・4前		1		1						
工学倫理と安全工学	3後	2				1					
経営管理	3前		2								
産業経済学	3後		2								
専 門 科 目	電気工学概論	3後	2			1			1		
	循環型社会工学	3後		2		-	+				教育課程の見直しのため(23)
	構造工学入門	1前	1			4	4				
	構造力学Ⅰ	1後	2			1					
	構造力学Ⅱ	2前	2				1				
	構造力学演習Ⅰ	1後 2前	1						1		教育効果の向上のため(23)
	構造力学演習Ⅱ	前 2後	1						1		教育効果の向上のため(24)
	材料力学	2前	2			1					
	構造振動学	3前	2			1					
	構造振動学演習	3前	1			1			1		
	計算力学	3前	2			1					
	計算力学演習	3前	1			1			1		
	シミュレーション工学	2前	1			1					
	平面及び曲面構造論	後 3前		2			1				教育効果の向上のため(24)
	構造物安定論	2後 3前	2				1				教育効果の向上のため(24)
	土質力学	2後	2			1					
	鋼構造設計法	3前		2		1					
	RC構造設計法	3前		2			1				
	基礎構造設計法	3前	2			1					
	構造塑性力学	3前		2			1				
	溶接構造強度学	2後	2				1				
	コンクリート材料及び施工	2前	2				1				
	維持管理工学	3後		2		2					
水理学	3前		2		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				備考		
			必修	選択	自由	自	教授	准教授	講師	助教		助手	
専門科目	環境地質学												
	応用地質学	2前		2			1						科目内容の見直しのため(23)
	建築法規及び耐震工学	3前		2				1					
	建築環境工学	3前		2									
	建築学概論	2後		2									
	都市工学概論	3前		2									
	建築計画	2前		2				1					
	防災計画	3後		2				1					
	設備工学	2後		2				1					
	海洋構造工学概論	2後		2				1					教育内容の充実のため(24)
	航空宇宙構造工学概論	2後		2									
	アルゴリズムと言語処理	1後		1							1		
	CAD実習												
	CAD演習	2前		2				1			1		科目内容の見直しのため(23)
	建築製図Ⅰ	1後		1				1					担当教員の昇任のため(24)
	建築製図Ⅱ	2後		1				1					教育内容の充実のため(23)
	構造設計製図A	3前		2	2			1					教育課程の見直しのため(23)
	構造設計製図B	3後		2	2			1					教育課程の見直しのため(23)
	構造工学実験	3通		2				3	1		3		
	エンジニアリングデザイン	3後		1				1	1		1		
	構造工学セミナー	3後		1				4	4				
	学外実習及び見学	3通		1				1			1		
	地学概論	2後				2		2	2				担当教員の見直しのため(24) 教員免許状の課程認定審査のため(23)
工業入門	2前				2		2	2		2		担当教員の見直しのため(24) 教員免許状の課程認定審査のため(23)	
職業指導Ⅰ	3前 2後				2		2	2		2		教育効果の向上のため(24) 教員免許状の課程認定審査のため(23)	
職業指導Ⅱ	後 3前				2		2	2		2		教育効果の向上のため(24) 教員免許状の課程認定審査のため(23)	
国際インターンシップ	1・2・3・4前・後				1							教育課程の充実のため(24)	
卒業研究	4通		8				4	4		3			

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- 届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
35	28	11	74	35	27	16	78	
				[0]	[△1]	[5]	[4]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	循環型社会工学	2	3後	専門	選択	他コース(社会環境デザイン工学コース)において同じ科目を開講しており、その受講で対応可能であるため。
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。
なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

他コース(社会環境デザイン工学コース)において同じ科目を開講しており、その受講で対応可能であるため、当該コースから本科目を廃止しても教育上支障はない。
また、学生へは「履修の手引」により周知・指導している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{} \quad 0.01$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

(1) 授業科目表

工学部工学科 (社会環境デザイン工学コース)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
工学 基礎 科目	微分積分学Ⅰ	1前	2						1		
	微分積分学Ⅱ	1後	2						1		
	微分積分学Ⅲ	2前	2						1		
	微分積分学演習	1・2・3・4後			1	1					
	線形代数学Ⅰ	1前	2						1		
	線形代数学Ⅱ	1・2・3・4後			2				1		
	確率・統計	1・2・3・4前			2	1					
	応用数学A	1後	2				1		1		教育内容の充実のため(24)
									2		
	応用数学B	2前	2						4		教育内容の充実のため(24)
	応用数学C	1・2・3・4後			2		1				
	工業数学A	1前	1						2		
									2		
	工業数学B	1後	1				1		4		教育内容の充実のため(24)
									3		
	工業数学C	2前	1						2		教育内容の充実のため(24)
	基礎物理A	1後	2				1				
							2				
	基礎物理B	1前		2			4				教育内容の充実のため(24)
	基礎物理C	1前		2			1				
	基礎物理D	1前		2	2		1				教育課程の見直しのため(23)
	基礎化学	3前		2			1				
	生命科学	3後		2							
	基礎実験	1前	1				4	3		6	教育内容の充実のため(24)
	情報科学概論	1後		2			4	1			担当教員の見直しのため(23)
	技術英語Ⅰ	3前	1							1	
	技術英語Ⅱ	3後	1							1	
	技術英語Ⅲ	4前	1							1	
	技術英語Ⅳ	4前			1	3	3			3	
	創成プロジェクト	1・2・3・4前	1								
工学倫理と安全工学	3後	2				1					
経営管理	3後		2								
産業経済学	3後		2								
専門 科目	社会環境デザイン工学セミナー	1前	1			1	1		3		
	社会環境デザイン製図	1後	1				1		2	教育内容の充実のため(23)	
	連続体力学入門	1後	2			1					
	構造力学Ⅰ	2前	2			1					
	構造力学Ⅱ	2後	2			1					
	地盤力学Ⅰ	2前	2			1					
	地盤力学Ⅱ	2後	2			1					
	水理学Ⅰ	2前	2			1					
	水理学Ⅱ	2後	2			1					
							3				
	専門基礎力学演習A	2前	2				2	4		4	担当教員の見直しのため(24)
							3				
	専門基礎力学演習B	2後	2				4	2		2	担当教員の見直しのため(24)
	測量学	2前	2					1		1	教育内容の充実のため(24)
										2	
	測量学実習	2後	1							4	教育内容の充実のため(24)
	都市・交通計画	2後	2					1			
	計画学数理	2後	2					1			
	コンピュータ情報処理	3後	1							3	
	社会環境デザイン工学実験・演習A	3前	1				2	1		2	
	社会環境デザイン工学実験・演習B	3前	1				1	2		1	
	キャリアセミナー	3前	1				1	1		3	
	学外実習及び見学	3後	1				1	1		3	
構造振動学	3前		2				1				
建設材料学	2後		2			1					
コンクリート構造工学	3後		2				1				
水文学	3前		2				1				
環境水理学	3前		2				1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	単位	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	海岸環境物理学	3後		2		1						
	環境地質学	3後		2		1						
	応用地盤工学	3前		2		1			1			
	地圏環境工学	3後		2		1						
	環境計画学	2後		2		3	3		3			担当教員の見直しのため(24)
	空間情報処理学	3前		2		1			1			
	景観デザイン	2前		2			1					
	維持管理工学	3前		2			1					
	コンピュータ構造設計	4前		2		1						
	環境生態学	1後		2					1			
	水環境システム工学	3後		2			1					
	水圏デザイン工学	4前		2			1					
	循環型社会工学	4前		2					1			
	災害リスクマネジメント	4前		2		3	3		3			
	環境修復工学	3後		2			1					
	エコエネルギー工学	3後		2					1			
	環境計量学	3後		2			2					
	建設マネジメント	3後		2			1					
	工業爆薬学	4前		2								
	地学概論	2後			2	2	2					担当教員の見直しのため(24) 教員免許状の課程認定審査のため(23)
	工業入門	2前			2	2	2		2			担当教員の見直しのため(24) 教員免許状の課程認定審査のため(23)
	職業指導Ⅰ	3前 2後			2	2	2		2			教育効果の向上のため(24) 教員免許状の課程認定審査のため(23)
	職業指導Ⅱ	後 3前			2	2	2		2			教育効果の向上のため(24) 教員免許状の課程認定審査のため(23)
国際インターンシップ	1・2・3・4前・後		1								教育課程の充実のため(24)	
卒業研究	4通		8		3	3		3				

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- 届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
37	32	5	74	37	32	10	79	
				[0]	[0]	[5]	[5]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{} \quad 0.00$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

(1) 授業科目表

工学部工学科 (化学・物質工学コース)

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
工 学 基 礎 科 目	微分積分学Ⅰ	1前	2									
	微分積分学Ⅱ	1後	2			1						
	微分積分学Ⅲ	1後	2			1						教育内容の充実のため(23)
	微分積分学演習	1・2・3・4前			1	1						
	線形代数学Ⅰ	1前	2			1						教育内容の充実のため(24)
	線形代数学Ⅱ	1・2・3・4前			2					1		
	確率・統計	3後		2								
	応用数学A	1・2・3・4前			2	1						
	応用数学B	1・2・3・4後			2	1						
	応用数学C	1・2・3・4前			2	1						
	工業数学A	3前	1									
	工業数学B	2後		1			1					
	工業数学C	2前		1			1					
	基礎物理A	1前	2				1					
	基礎物理B	1・2・3・4前			2		1					
	基礎物理C	1後	2				1					
	基礎物理D	1・2・3・4後			2		1					
	基礎化学	1前	2			1						
	生命科学	1前	2			1						
	基礎実験	2前	1			2	4			6		担当教員の見直しのため(24)
	情報科学概論	3前		2						1		
	技術英語Ⅰ	1後	1			1	1			2		担当教員の見直しのため(23)
	技術英語Ⅱ	2前	1			1	1			3		担当教員の見直しのため(24)
技術英語Ⅲ	3前	1							3			
技術英語Ⅳ	4前		1		7	9			10			
創成プロジェクト	1・2・3・4前		1		1							
工学倫理と安全工学	3・4後	2			1							
経営管理	4前		2									
産業経済学	4前		2									
専 門 科 目	物理化学Ⅰ	1後	2			1						
	無機化学Ⅰ	1後	2			2						担当教員の見直しのため(24)
	有機化学Ⅰ	1後	2			+	+					教育内容の充実のため(23)
	物理化学Ⅱ	2前	2			1						担当教員の見直しのため(23)
	無機化学Ⅱ	2前	2			1	+					担当教員の昇任のため(24)
	有機化学Ⅱ	2前	2			1	+					担当教員の昇任のため(24)
	分析化学Ⅰ	2前	2			1						
	生化学Ⅰ	2前	2			1						
	固体物理学Ⅰ	2前	2				+			1		担当教員の見直しのため(24)
	固体構造科学	2前	2					1				
	金属組織学Ⅰ	2前	2					1				
	実験の安全指針	2前	1							3		
	高分子化学	2後	2			1	1			4		担当教員の見直しのため(24)
	固体物理学Ⅱ	2前	2				1					教育内容の充実のため(24)
	電気化学Ⅰ	2前	2				1					
	反応速度論	2後		2		1	+					担当教員の昇任のため(24)
	有機化学Ⅲ	2後		2		1						
	量子化学	2後		2		1	+			1		担当教員の昇任のため(24)
	生化学Ⅱ	2後		2			1					
	金属組織学Ⅱ	2後		2			1					
	固体構造欠陥論	2後		2			1					
	分析化学Ⅱ	3前	2			1						
	材料物性演習Ⅰ	3前	1			2	2					
	分子化学演習Ⅰ	3前	1			2	2					
	応用化学実験Ⅰ	3前	1			2	2			2		
	有機生命実験Ⅰ	3前	1			2	2			2		
材料物性実験Ⅰ	3前	1			2	2			2			
機器分析学A	3前		2			1						
機器分析学B	3前		2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由	単位	教授	准教授	講師	助教		助手
専門科目	錯体化学	3前		2			1					
	高分子物性学Ⅰ	3前		2			1					
	生化学Ⅲ	3前		2		1						
	固体物理学Ⅲ	3前		2			1					
	セラミックス材料物性学	3前		2		1						
	金属材料物性学	3前		2		1						
	化学工学Ⅰ	3前		2		1						
	材料物性演習Ⅱ	3後	1			2	2					
	分子化学演習Ⅱ	3後	1			2	2					
	応用化学実験Ⅱ	3後	1			2	2		2			
	有機生命実験Ⅱ	3後	1			2	2		2			
	材料物性実験Ⅱ	3後	1			2	2		2			
	界面化学	3後		2		1						
	有機金属化学	3後		2			1					
	有機化学Ⅳ	3後		2		1						
	電気化学Ⅱ	3後		2			1					
	高分子物性学Ⅱ	3後		2			1					
	生化学Ⅳ	3後		2			1					
	半導体材料学	3後		2			1					
	化学工学Ⅱ	3後		2		1						
	工場見学	3後		1		1	1					
	インターンシップ	3前		1		1	1					
	物理化学Ⅲ	4前		1		1						
	無機化学Ⅲ	4前		1			1					
	有機化学Ⅴ	4前		1		1						
	生化学Ⅴ	4前		1			1					
	医用材料学	4前		1			1					
	環境工学	4前		1								
特別講義	4後		1									
地学概論	2後			2		1	2				担当教員の見直しのため(24) 教員免許状の課程認定審査のため(23)	
工業入門	2前			2		5	2		2		担当教員の見直しのため(24) 教員免許状の課程認定審査のため(23)	
職業指導Ⅰ	3前 2後			2		2	2		2		教育効果の向上のため(24) 教員免許状の課程認定審査のため(23)	
職業指導Ⅱ	後 3前			2		2	2		2		教育効果の向上のため(24) 教員免許状の課程認定審査のため(23)	
国際インターンシップ	1・2・3・4前・後			1							教育課程の充実のため(24)	
卒業研究	4通		8			7	9		10			

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
41	40	7	88	41	40	12	93	
				[0]	[0]	[5]	[5]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。
なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{} \quad 0.00$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

(1) 授業科目表

工学部工学科（全コース共通）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				備考		
			必修	選択	自由		教授	准教授	講師	助教		助手	
教職に関する科目	教職論 教育職業論	2前			2							教員免許状の課程認定審査のため(23)	
	教育原理論	1 2後			2							教育効果の向上のため(24)	
	教育心理	1後 2前			2							教育効果の向上のため(24)	
	教育行政・制度論	1 2後			2							教育効果の向上のため(24)	
	理科教育法	3前			4								
	数学科教育法	3後			4								
	工業科教育法	3前			4								
	特別活動論	1・2前後 2前			2								教育効果の向上のため(24)
	教育方法・技術論	1・2前後 2後			2								教育効果の向上のため(24)
	生徒・進路指導論 進路指導	1・2前後 2前			2								教育効果の向上のため(24) 教員免許状の課程認定審査のため(23)
	教育相談	前後 2後			2								教育効果の向上のため(24)
	教職実践演習	後 4前			2								教育効果の向上のため(24)
	教育実地研究Ⅰ(事前・事後指導)	4前											教育効果の向上のため(24)
	教育実地研究(事前・事後指導)	3後			1								教員免許状の課程認定審査のため(23)
	教育実地研究Ⅱ(実習)	前											教育効果の向上のため(24)
	教育実地研究(実習)	4後			2								教員免許状の課程認定審査のため(23)

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
0	0	14	14	0	0	14	14	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。
なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{} \quad 0.00$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運動場用地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
		m ²	m ²	m ²	m ²			
		(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		室	室	室	室	室		
				(補助職員 人)	(補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
					室			
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	〇〇学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数				
		m ²						
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					
		m ²						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		学生納付金以外の維持方法の概要						

- (注) ・ 届出時の計画を、届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成24年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(24)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	長崎大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	設年度	所在地	
教育学部										
学校教育教員養成課程	4	240	—	960	学士(教育学)	1.01	平成10年度		長崎市文教町1-14	
情報文化教育課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃	平成20年度より学生募集停止
経済学部										
総合経済学科			3年次							
昼間コース	4	355	10	1,440	学士(経済学)	1.02	平成10年度		長崎市片淵4-2-1	
夜間主コース	4	60	5	250	〃	0.99	〃	〃	〃	
医学部										
医学科	6	116	2年次	721	学士(医学)	1.00	昭和24年度		長崎市坂本1-12-4	
保健学科	4	106	3年次	452	学士(看護学) 学士(保健学)	1.00	平成14年度		長崎市坂本1-7-1	
歯学部										
歯学科	6	50	—	300	学士(歯学)	1.00	昭和55年度		長崎市坂本1-7-1	
薬学部										
薬学科	6	40	—	240	学士(薬学)	1.02	平成18年度		長崎市文教町1-14	
薬科学科	4	40	—	160	学士(薬科学)	1.08	昭和61年度		〃	
工学部										
工学科	4	380	—	1,520	学士(工学)	1.06	平成23年度		長崎市文教町1-14	
機械システム工学科	4	—	—	—	〃	—	平成2年度		〃	
電気電子工学科	4	—	—	—	〃	—	平成10年度		〃	
情報システム工学科	4	—	—	—	〃	—	〃		〃	
構造工学科	4	—	—	—	〃	—	昭和42年度		〃	
社会開発工学科	4	—	—	—	〃	—	平成3年度		〃	
材料工学科	4	—	—	—	〃	—	昭和45年度		〃	
応用化学科	4	—	—	—	〃	—	平成3年度		〃	
各学科共通		—	3年次	20		—	平成18年度			平成23年度より学生募集停止 (各学科共通の編入学定員は、学年進行に伴い平成25年度より学生募集停止予定)
環境科学部										
環境科学科	4	140	3年次	580	学士(環境科学)	1.01	平成10年度		長崎市文教町1-14	
水産学部										
水産学科	4	110	—	440	学士(水産学)	1.04	昭和48年度		長崎市文教町1-14	

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校の学科(A C対象学部等を含む)について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成24年5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<工学部 工学科>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	

(注) ・届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・年齢は、「認可時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成24年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」, 「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
41	39	0	33	113	0	42	39	0	33	114	1	
(44)	(40)	(0)	(32)	(116)	(1)	[1]	[0]	[0]	[0]	[1]	[1]	

(注) ・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、

「変更状況」には、平成24年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<工学部 工学科>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

--

- (注) ・ 届出時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。
 また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
 なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書	
a ホームページに公表の有無	(有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無)
b 公表時期(未公表の場合は予定時期)	(平成24年6月上旬)